

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52100	畜産事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約 農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	畜産事業	
担当課		農政部 畜産課	項	2	畜産業費	施策の概要	1	活気ある畜産生産地づくり	H29実施計画額	千円	
		内線 2240	目	1	畜産総務費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・高山市の畜産振興の向上	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
	対象者数	220 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> 畜産関係各種団体委員への謝礼 飛騨畜産振興会の負担金(飛騨3市1村及びJAなどで構成) 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		畜産関係各種団体委員活動謝礼	件	目標値	33	33	32	32	32
				実績値	32	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	97	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。	
次年度の考え 課の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・畜産情勢を注視しながら事業を継続して実施する。
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,031	1,022	1,025	1,032
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,686	4,645	4,659	4,691
	受益者 畜産農家	(B)	220	220	220	220

5 予算編成(Action2)

事業内容	・畜産振興を図るための一般的な事務経費、飛騨畜産振興会活動支援負担金、畜産団体等への報酬	要求のポイント	・畜産振興上の必要経費を主体とし、畜産振興団体への支援負担金・報酬等により畜産振興を図る 飛騨畜産振興会負担金	事業実施の課題	・関係団体と協力連携を密にし情報収集に努め、畜産情勢を考慮しながら畜産振興を図る
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,025	1,032	7	1,041	1,041	・要求どおり ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	30	30	0	30	30		
その他	36	40	4	36	36		
一般財源	959	962	3	975	975		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52205	後継者等肉用牛貸付事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	1 産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5 農林水産業費	個別分野	7 畜産業	実施計画事業	後継者等肉用牛貸付事業			
担当課		農政部 畜産課	内線	項	2 畜産業費	施策の概要		H29実施計画額	31,000 千円		
			2239	目	2 畜産振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖)	どうしたいのか(意図)	・飛騨牛繁殖基盤の確保並びに拡大を行い畜産の安定経営を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・肉用繁殖雌牛の5年間無償貸付
	対象者数	162 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・貸付頭数 31頭							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		貸付実施頭数	頭	目標値	75	75	75	75	75
				実績値	31	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	41	-	-	-	-
				目標値					
	成果指標	算出根拠等		実績値					
				達成率(%)					
		肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	頭	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
				実績値	3,272	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	96	-	-	-	-

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・無利子での肉用牛導入費用の貸付だが、一括返済を不安に思う農家があるため、分割での返済などの方策の検討が必要である。 ・高齢化や後継者不足で、畜産農家が減少している。 ・国の補助金が廃止になり、県の補助金と市の積立で基金を造成し対応している。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため内容等の見直しを視野に入れながら継続する。	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため内容等の見直しを視野に入れながら継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 18,000	13,600	31,000	31,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 111,111	83,951	191,358	191,358
	受益者 畜産農家	(B) 162	162	162	162

5 予算編成(Action2)

事業内容	肉用繁殖雌牛を買い上げ、5年間無償貸付 ・肉用牛繁殖雌牛後継者等貸付 5,000千円(500千円×10頭) ・肉用繁殖雌牛高齢者貸付 26,000千円(400千円×65頭)	要求のポイント	飛騨牛繁殖基盤の確保並びに畜産経営の安定化	事業実施の課題	畜産農家のニーズを踏まえ、増頭目標達成のための効果的な運用を図る必要がある
------	--	---------	-----------------------	---------	---------------------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	31,000	31,000	0	31,000	31,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	31,000	31,000	0	31,000	31,000		
一般財源			0	0	0		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52210	家畜防疫衛生事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	家畜防疫衛生事業			
担当課		農政部 畜産課	内線	2	畜産業費	施策の概要	3	販路の拡大と供給の安定化	H29実施計画額	1,400 千円			
			2237	目	2	畜産振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種補助 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配布
	対象者数	182 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	活動指標	H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病浸潤状況の調査 法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種補助 家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知 		指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		法定家畜伝染病予防接種(鶏ニューカッスル病)	羽	目標値	150,000	150,000	56,000	56,000	56,000			
			実績値	65,000	-	-	-	-				
	算出根拠等		達成率(%)	43	-	-	-	-				
	県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病)	頭	目標値	130	130	30	30	30				
		実績値	30	-	-	-	-					
	算出根拠等		達成率(%)	23	-	-	-	-				
	届出伝染病(牛白血病)抗体検査	頭	目標値	2,400	2,400	1,100	1,100	1,100				
		実績値	1,278	-	-	-	-					
	算出根拠等		達成率(%)	53	-	-	-	-				
	肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	頭	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400				
		実績値	3,272	-	-	-	-					
	算出根拠等		達成率(%)	96	-	-	-	-				
	成果指標		目標値									
		実績値		-	-	-	-					
算出根拠等		達成率(%)										
		目標値										
実績値		-	-	-	-	-						
算出根拠等		達成率(%)										

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自衛防疫と市全体(飛騨地域)での防疫措置とを明確にしコスト削減を図りつつ、効果的な防疫事業を行う必要性がある。 緊急時の防疫対策の備蓄等を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 伝染病予防にかかる生産者の自衛防疫の徹底や普及啓発及び飛騨地域全体での統一した防疫措置の推進 届出伝染病(牛白血病)抗体検査の浸潤状況に基づき、陽性牛の淘汰等の指導措置 	
次年度の担当課の考え	維持・改善	今後も引き続き、予防接種の推進、伝染病の浸潤調査を実施し防疫措置を講じていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,140	1,055	1,360	1,999
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,182	4,795	7,473	10,984
	受益者	畜産農家	(B)	220	220	182

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病浸潤状況調査(放牧牛における牛白血病等) 法定伝染病予防補助(ニューカッスル病) 県外導入豚検査(オーエスキー病) 消毒薬及び消毒機器等の整備により防疫対策を図る 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 全国における動向の把握及び家畜の伝染病浸潤状況調査 消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチン接種 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 生産者への防疫意識の向上を図り防疫対策を推進 防疫対策マニュアルの周知徹底と改訂の必要性の検討 不測の事態(悪性伝染病)を想定した備蓄のあり方
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,360	1,999	639	1,160	1,160	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,360	1,338	△22	1,160	1,160		
一般財源		661	661	0	0		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52215	家畜人工授精事業費		会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			予算	款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	家畜人工授精事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	項	2	畜産業費	施策の概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり	H29実施計画額	25,000 千円		
			2237	目	2	畜産振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	どうしたいのか(意図)	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
	対象者数	182 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		人工授精	3,164件							
		受精卵移植	106件							
		採卵	37件							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		人工授精実施件数		件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値			3,164	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	105	-	-	-	-
		受精卵移植実施件数		件	目標値	80	80	100	100	100
		実績値			106	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	133	-	-	-	-
	成果指標	受精卵採卵実施件数		件	目標値	40	40	50	50	50
		実績値			37	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	93	-	-	-	-
		肉用牛繁殖雌牛飼養頭数		頭	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
		実績値			3,272	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	96	-	-	-	-
					目標値					
実績値										
算出根拠等			達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	生産者の収入増と「飛騨牛」ブランドの継続・躍進のためにも今後も業務を続けていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛騨牛のブランド化や受胎率の向上を図る。	
次年度の担当課の考え方	維持・改善	既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛騨牛のブランド化や受胎率の向上を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,424	24,323	24,560	25,270
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	134,198	133,643	134,945	138,846
	受益者	畜産農家	(B)	182	182	182

5 予算編成(Action2)

事業内容	家畜人工授精業務委託	要求のポイント	・優良牛の増産・増頭のための農家支援	事業実施の課題	広大な高山で「飛騨牛」ブランドを維持・発展させるための、家畜人工授精業務委託の継続、受精卵移植の活用
------	------------	---------	--------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		24,560	25,270	710	24,680	24,680	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	7,815	7,527	△288	7,815	7,815		
	一般財源	16,745	17,743	998	16,865	16,865		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52220	繁殖牛舎整備費助成事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	繁殖牛舎整備費助成事業		
担当課		農政部 畜産課	項	2	畜産業費	施策の概要	1	活気ある畜産生産地づくり	H29実施計画額	21,000 千円		
		内線 2239	目	2	畜産振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(和牛繁殖、和牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・肉用繁殖雌牛飼育頭数3,500頭(H36)を目指すため、飛騨牛の地元畜産率の向上と飛騨牛ブランドの拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し補助する。
	対象者数	229 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・繁殖牛舎 1棟								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		繁殖牛舎建設実績		棟	目標値	3	3	3	3	3
		実績値			1	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	33	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
				達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
				達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
			達成率(%)							
成果指標	肉用牛繁殖雌牛飼養頭数		頭	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	
	実績値			3,272	-	-	-	-		
	算出根拠等			達成率(%)	96	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
				達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・制度の周知を図り、利用促進を行う必要がある。 ・また、計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実に進めよう指導する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・計画段階で農地転用、建築確認等の手続きを確実に進めよう指導していく。	
次年度の担当課の考え	○維持・改善	・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,500	5,000	12,000	30,630
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	46,296	30,864	74,074	133,755
	受益者 畜産農家	(B)	162	162	162	229

5 予算編成(Action2)

事業内容	畜舎等の整備を行う生産農家及び農業法人等に対する助成 ・和牛繁殖牛舎 補助率1/2 (県1/3、上限20,000千円) ・その他の整備 補助率1/4 (県単補助、上限10,000千円)	要求のポイント	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭の目標達成に向けて、基盤となる牛舎建設等を推進 ・全畜産農家の生産基盤強化と経営安定化を推進	事業実施の課題	・県下で多数の要望が想定されるため、農家の増頭対策や自己資金の調達など採択要件に対する項目を事前に整理する必要がある
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,000	30,630	18,630	37,650	37,650	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	8,250	27,530	19,280	29,650	29,650		
その他			0				
一般財源	3,750	3,100	△ 650	8,000	8,000		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52225	家畜改良推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
				款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	家畜改良推進事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	項	2	畜産業費	施策の概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり	H29実施計画額	5,000 千円		
			2239	目	2	畜産振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化及び、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・各種品評会の開催
	対象者数	220 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・市畜産共進会経費等家畜改良事業 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会負担金) 								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)					
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)					
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)					
					目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
					実績値	3,272	-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)	96	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値							
算出根拠等			達成率(%)							
			目標値							
			実績値							
算出根拠等			達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・畜産を取り巻く情勢的確な把握及び農業者への情報提供・指導
-----------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・県・他市村・JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。	
次年度の担当課の考え	○維持・改善	・県・他市村・JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 753	2,300	1,980	12,545
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,423	10,455	9,000	57,023
	受益者 畜産農家	(B) 220	220	220	220

5 予算編成(Action2)

事業内容	・家畜の改良度や改良の方向性の確認のための各種共進会の開催及び参加 ・第11回全国和牛能力共進会(宮城大会)の取り組みへの支援	要求のポイント	・品評会、共進会等の開催によるレベルアップ ・第11回全国和牛能力共進会(宮城大会)の取り組みへの支援	事業実施の課題	・更なる「飛騨牛」の躍進と生産者のレベルアップを図る
------	--	---------	--	---------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,980	12,545	10,565	7,060	7,060	・積算内容を精査 ・全国和牛能力共進会に向けた取組みに要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	424	446	22	2,224	2,224		
	一般財源	1,556	12,099	10,543	4,836	4,836		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52230	牧場運営事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約 農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	牧場運営事業	
			項	2	畜産業費	施策の概要	1	活気ある畜産生産地づくり	H29実施計画額	22,000 千円	
担当課		農政部 畜産課	内線	2237	畜産振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖)	どうしたいのか(意図)	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧推進を図り、他農業との複合経営の確立、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・放牧場の整備、充実を図るとともに、適正な牧場利用調整、推進を行う
	対象者数	162 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	放牧延べ頭数47,014頭								
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		放牧延べ頭数	頭	目標値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
				実績値	47,014	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	65	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
		畜産粗生産額	億円	目標値	79	79	79	79	79
				実績値	97	-	-	-	-
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	123	-	-	-	-	
	地域内飼料自給率	%	目標値	31	31	31	31	31	
			実績値	29	-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	94	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・放牧場施設及び草地の老朽化が目立っており、順次整備していく事により、放牧利用が推進され繁殖牛の増頭及び安定した子牛生産が見込まれ飛騨牛ブランドの躍進が期待される。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・指定管理者制度も含めた牧場施設・草地の維持管理方法の検討	
次年度の担当の考え	○ 維持・改善	・牧場の管理方法と、牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	18,792	21,076	22,350	23,763
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	116,000	130,099	137,963	146,685
	受益者 畜産農家	(B)	162	162	162	162

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市営牧場の維持・管理 ・放牧牛の健康管理及び防疫体制の強化 ・放牧施設及び草地の維持管理	要求のポイント	・放牧場内施設の老朽化による修繕 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上	事業実施の課題	・防疫衛生対策
------	---	---------	---------------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	22,350	23,763	1,413	21,350	21,350	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	10,800	7,783	△ 3,017	7,800	7,800		
一般財源	11,550	15,980	4,430	13,550	13,550		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52235	優良飛驒牛固定推進事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	1 産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
				款	5 農林水産業費	個別分野	7 畜産業	実施計画事業	優良飛驒牛固定推進事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	項	2 畜産業費	施策の概要	2 ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり	H29実施計画額	42,000 千円		
			2239	目	2 畜産振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、酪農)	どうしたいのか(意図)	・遺伝的に良質な牛肉を生産する能力の高い繁殖牛を保留又は導入する ・優良な乳用牛の保留又は導入による酪農経営の強化 ・子牛生産における共済対象外の事故に対し互助制度を行うための基金を造成	概要	事業の実施手法(手段)	・優良飛驒牛、優良乳用牛増頭に対する補助 ・家畜共済対象外の流死産等の事故(早期の流死産等)に対する互助のための基金造成
	対象者数	182 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・優良雌牛保留対策 123頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭 ・互助事業加入頭数 3,167頭								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		生乳生産量		t	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		算出根拠等			実績値	9,594	-	-	-	-
		互助事業加入頭数		頭	目標値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
		算出根拠等			実績値	3,166	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	96	-	-	-	-	
	成果指標	肉用牛繁殖雌牛・乳用牛雌牛飼養頭		頭	目標値	4,900	4,900	4,500	4,500	4,500
		算出根拠等			実績値	4,358	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	89	-	-	-	-
		優良雌牛保留・導入頭数		頭	目標値	230	230	230	230	230
算出根拠等			実績値	203	-	-	-	-		
算出根拠等			達成率(%)	88	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進。 ・高齢化や後継者不足による畜産農家が毎年減少。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進。 ・飼料及び関連資材価格の高止まりによる畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛驒牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、互助事業も有効に活用しながら畜産の経営安定を図る。
課の考えの担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・飼料及び関連資材価格の高止まりによる畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛驒牛生産繁殖雌牛及び乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	33,194	35,366	42,070	43,470
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	182,385	194,319	231,154	238,846
	受益者	畜産農家	(B)	182	182	182	182

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高育種優良雌牛より生産された優良雌子牛を保留又は導入する経費に対する助成 ・乳用牛経営基盤の強化のための優良な乳用牛を保留又は導入する経費に対する助成 ・飛驒牛生産事故見舞金造成に要する経費 1,000円×3,200頭×1/4(畜産農家1/2、JA1/4、市1/4)	要求のポイント	・優良雌牛の保留・導入 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛驒牛」改良生産強化	事業実施の課題	・優良な肉用牛及び乳用牛の保留・導入による経営基盤の強化 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛驒牛」改良生産強化を図る
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		42,070	43,470	1,400	42,070	42,070	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		1,500	1,500	1,500	1,500		
	その他	17,550	17,550	0	17,550	17,550		
	一般財源	24,520	24,420	△ 100	23,020	23,020		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	52245	飛騨食肉センター助成事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
				款	5	農林水産業費	個別分野	7	畜産業	実施計画事業	飛騨食肉センター助成事業		
担当課		農政部 畜産課	内線	項	2	畜産業費	施策の概要	3	販路の拡大と供給の安定化	H29実施計画額	68,200 千円		
			2239	目	2	畜産振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	畜産農家(肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農、養豚、養鶏)	どうしたいのか(意図)	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	事業の実施手法(手段)	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
	対象者数	220 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成 								
	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
活動指標	算出根拠等		目標値						
			実績値						
	算出根拠等		達成率(%)						
			目標値						
成果面	算出根拠等		実績値						
			達成率(%)						
	成果指標	肉用肥育牛飼養頭数	頭	目標値	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
			実績値	5,943	-	-	-	-	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	96	-	-	-	-	
			目標値	6,200	6,200	6,000	6,000	6,000	
	算出根拠等	肉豚出荷頭数	頭	実績値	5,771	-	-	-	-
			達成率(%)	93	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・食肉センターに対し、高レベルの食肉衛生対策を維持するとともに運営の効率化やコスト削減を求めていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・各種助成事業の継続実施	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	・各種助成事業の継続実施
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26	H27	H28	H29
	歳出(千円)		決算額	決算額	予算額	予算要求額
	(A)		67,010	66,915	68,305	68,515
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	304,591	304,159	310,477
受益者	畜産農家	(B)	220	220	220	220

5 予算編成(Action2)

事業内容	・食肉センター建設事業(債務負担)及び運営費、肉豚出荷や危険部位焼却に対する助成	要求のポイント	・飛騨牛の振興、食肉の安定供給	事業実施の課題	・食肉の安全安心な供給施設として維持管理をしつつ、運営の効率化とコスト削減等を検討する必要がある
------	--	---------	-----------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方		市長査定の考え方	
歳出(千円)		68,305	68,515	210	68,515	68,515	・要求どおり		・財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金			0						
	県支出金			0						
	その他			0						
	一般財源	68,305	68,515	210	68,515	68,515				